



令和5年9月29日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部
総務広報課長

宮崎大学のトピックス（9月分）の配信について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学は地域活性化の中核的役割を果たす大学として日々様々な活動を行っております。その活動の概要は、大学のウェブサイト上にトピックスとして掲載し、幅広く地域の皆様に見ていただけるようしているところです。

そのトピックスを月毎にまとめたものを報道機関の皆様にお配りし、大学の活動を知っていただくとともに、記事として取り上げていただき、より地域の皆様の目に届けたいと思っております。

つきましては、是非一読していただき、取材していただくようお願いいたします。取材にあたっての関係部署との調整・取り次ぎ等は総務広報課広報係にお申し付けください。

敬具

① 発信元

宮崎大学企画総務部総務広報課

TEL : 0985-58-7114 FAX : 0985-58-2886

宮崎大学最近のトピックス（令和5年9月分）

1. 中学生が宮崎大学を訪問しキャンパスライフを体験
2. 第13回宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター国際シンポジウムを開催
3. 竹下伸一准教授が「2023年度農業農村工学会優秀論文賞」を受賞
4. 地方共通の課題に知見を共有 ～ 島根大学と包括連携協定を締結 ～
5. 工学部森浩二教授が開発責任者を務めるX線 CCD カメラを搭載した XRISM 衛星が H-IIA に乗って宇宙へ
6. 教育学部附属中合唱部が第78回九州合唱コンクールで金賞
- 九州代表として全国大会へ出場します！！ -
7. 高木兼寛にゆかりのある3大学が宮崎に集結
- 第4回高木兼寛記念シンポジウムを開催 -
8. 宮崎大学基金への寄附目録贈呈式を実施 ～ 株式会社 SUNAO 製薬様 ～
9. 6カ国17名が新たな門出 ～ 令和5年度宮崎大学秋季学位記授与式を挙行政 ～
10. 令和5年度宮崎大学「夢と希望の道標」奨学金贈呈式を挙行政
11. 第30回技術・研究発表交流会を開催 ～ ノーベル化学賞受賞者の吉野彰氏が講演 ～

1. 中学生が宮崎大学を訪問しキャンパスライフを体験

2023年8月24日(木)、都農町(宮崎県)の中学生8名と保護者2名が宮崎大学を訪問し、体験講座、学内ツアーなどに参加しました。宮崎大学と都農町は、2018年8月に連携協定を締結した後、2020年には都農



町寄附講座を医学部と地域資源創成学部とで立ち上げました。今回は、「医療・保健・介護・福祉」「産業振興・地域振興」「教育・人材育成」を3本柱に、自立・自走のシステムづくりを目指す都農町と宮崎大学との連携事業の一環として実施したものです。

プログラムでは、山崎有美准教授(地域資源創成学部)と研究室4年生の指導のもと、食品加工技術を使ってアロマビーズを作る講座が行われ、大学での研究と地域との繋がりを学ぶとともに、ビーズづくりを体験しました。思い思いの色と香りでアロマビーズを作り、スポイトやビーカーを使っての実験を楽しみました。

昼食は、大学生協食堂での購買、体験をし、午後はガイド付き学内バスツアーなどを通じて、大学キャンパスの広さや施設の多様さを知り、キャンパスの様子を感じる時間となりました。大学生の生の声を聞き、中学生は大学へのイメージを膨らませたようでした。

2. 第13回宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター国際シンポジウムを開催

2023年8月29日(火)、宮崎大学330記念交流会館において、第13回宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター(CADIC: Center for Animal Disease Control)国際シンポジウム「食料安全保障と持続可能な畜産のために私たちは何をすべきか?」を開催し、オンラインも含めて130名を超える皆様にご参加いただきました。



まず、第1部において、カンザス州立大学(アメリカ)・ベンハー大学(エジプト)・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門の3カ国3機関の講師に、「養豚場への侵入を防止するためのアフリカ豚熱対策」「エジプトにおける口蹄疫の現状と今後の展望」「野生動物が保有する家畜の病原体の調査のあり方と実際」と題して、産業動物の悪性伝染病に対する世界的な取り組みを紹介していただきました。第2部では、CADICと国際共同研究プロジェクトを実施しているタイの動物感染症研究機関から、

産業動物防疫に関する最新の研究知見を報告していただきました。

CADICでは、引き続き、産業動物感染症制御に関する先端研究に取り組み、産業動物防疫活動においてグローバルに活躍できる人材の育成に努め、本県をはじめとする畜産業の発展に貢献してまいります。

3. 竹下伸一准教授が「2023年度農業農村工学会優秀論文賞」を受賞

2023年8月29日(火)、2023年度(第72回)農業農村工学会が愛媛大学城北キャンパス南加記念ホールで開催され、農学部森林緑地環境科学科の竹下伸一准教授が執筆した論文「山腹水路の迂回度指標の提案」(2021年度農業農村工学会論文集掲載)が優秀論文賞に輝きました。



竹下准教授は、農学部と地域資源創成学部の有志の教員で組織された宮崎大学ジラス研究会(代表:西教授(地域資源創成学部))の一員として、2015年に世界農業遺産に認定された宮崎県高千穂郷・椎葉山地域を対象に様々な調査研究を実施しています。中でも特に、高千穂を中心とする地域に多く存在する山腹用水路(地元では山腹用水路と呼ばれる)の特性や、地域における価値等について、頻繁に現地を訪れて地道に調査研究を重ねてきています。

これらの成果の一つが、今回受賞対象となった論文「山腹水路の迂回度指標の提案」にまとめられていて、先人が多大な労力を投じて建設・管理してきた山腹水路の実態を数値的に表現することで、日本独自の伝統文化の保全とともに、中山間地インフラに対する新たな価値創出にもつながる貴重な成果であるとして、高く評価されました。

4. 地方共通の課題に知見を共有 ~ 島根大学と包括連携協定を締結 ~

令和5年9月1日(金)、国立大学法人宮崎大学(鮫島浩学長)と国立大学法人島根大学(服部泰直学長)は、両大学の共通する理念の実現と社会的使命を果たすため、双方が連携・協力した教育研究を推進し、双方の発展に寄与することを目的とした包括連携協定を締結しました。



これは、服部学長自らが、宮崎大学が地域企業や自治体・県内大学などと連携して取り組

む特色ある取り組みや教育プログラムの視察に宮崎大学に足を運び、鮫島宮崎大学長などと意見交換を始めたことがきっかけです。

締結式において、鮫島学長は、「宮崎大学と島根大学では、距離的には離れているものの、少子高齢化や若者の県外流出と行った地方都市としての共通する課題は多い。それらの課題に対する両大学の取り組みを共有し、意見交換を重ねることで、より良い教育プログラムの開発や地域との連携につなげていきたい」と抱負を語りました。

5. 工学部森浩二教授が開発責任者を務めるX線 CCD カメラを搭載した XRISM 衛星が H-IIA に乗って宇宙へ

2023年9月7日8時42分11秒(日本標準時)に、X線分光撮像衛星 XRISM が H-IIA ロケットにより種子島宇宙センターから打ち上げられました。XRISM には、本学工学部の森浩二教授が開発責任者を務め、山内誠教授、廿日出勇教授も開発に貢献した広視野 X 線 CCD カメラが搭載されています。

XRISM は、爆発した星の痕跡である超新星残骸や複数の銀河が集まった銀河団の観測を通して、宇宙の化学組成や構造形成の進化の謎に迫ります。現在、衛星は打ち上げ直後の起動を終えたところで、今後、衛星および搭載機器の機能確認を3ヶ月かけておこないます。

これからの XRISM の活躍にご期待ください。



6. 教育学部附属合唱部が第78回九州合唱コンクールで金賞 - 九州代表として全国大会へ出場します!! -

「第78回九州合唱コンクール」(主催:全日本合唱連盟九州支部、長崎県合唱連盟、朝日新聞社)が、9月8~10日にかけて長崎市の長崎ブリックホールで開催されました。

中学校の部では、九州各県の代表3校が渾身の演奏を披露しましたが、宮崎大学教育学部附属中学校合唱部

(指導:甲斐真里子教諭)が見事に金賞を受賞し、九州代表として「第76回全日本合唱



コンクール全国大会」に出場することになりました。

さらに同校は、中学校の部の最優秀団体に授与される「朝日新聞社大賞」も受賞。これは、宮崎県の中学校としては、2005年に同校が受賞して以来の快挙です。

全国大会は、10月28、29日に香川県高松市で開催されます。附属中学校合唱部の明るく円やかな歌声と心のこもった美しい合唱が会場に高らかに鳴り響くことでしょう。

7. 高木兼寛にゆかりのある3大学が宮崎に集結 - 第4回高木兼寛記念シンポジウムを開催 -

令和5年9月8日(金)、宮崎市フェニックスリゾート コテージヒムカにおいて、第4回高木兼寛記念シンポジウムを開催し、松藤千弥東京慈恵会医科大学長、佐野輝鹿児島大学長、鮫島浩宮崎大学長を含む約60名の方にご参加いただきました。



宮崎大学医学部、東京慈恵会医科大学医学部、鹿児島大学医学部は、いずれもわが国の医療・看護の発展に寄与された高木兼寛先生に縁が深いことから、学術交流の一環として、医学・看護学の教育研究をテーマとした「高木兼寛記念シンポジウム」を定期的で開催してきました。また、令和4年度からは、サテライト企画として実施している看護学教育に関連した「第2回高木兼寛記念看護学教育懇談会」も開催しており、医学分野のみならず看護学分野においても連携を深めてきました。

今回のシンポジウムは、セッション1として「交換実習の試験的取り組みについての紹介」と題し各大学の実習についての成果や今後の展望について発表があり、セッション2では、各大学医学科の教員が「医学科の研究紹介」と題し、最新の研究を紹介。実習での成果や課題を報告しながら、今後のより良いプログラムのあり方につながる有意義な意見交換が行われました。

8. 宮崎大学基金への寄附目録贈呈式を実施 ～ 株式会社 SUNAO 製菓様 ～

令和5年9月11日(月)、株式会社宮崎銀行が取り扱う「みやぎん CSR 型私募債 (With)」のスキームを活用して、株式会社 SUNAO 製菓様(廣澤直也代表取締役)から宮崎大学基金に対し寄附をいただくことになり、寄附目録贈呈式が行われました。

贈呈式には、廣澤直也代表取締役、鈴木慎光氏(株式会社宮崎銀行霧島町支店支店長)が出席。廣澤直也代表取締役から「私が工学部の卒業生ということもあり、宮崎大学とは切っても切れないご縁がある。これからも引き続き応援していきたい。」との言葉をいただきました。



9. 6カ国17名が新たな門出 ～ 令和5年度宮崎大学秋季学位記授与式を挙行 ～

令和5年9月19日(火)、宮崎大学木花キャンパス内にある330記念交流会館コンベンションホールにおいて、令和5年度宮崎大学秋季学位記授与式を挙行し、農学研究科2名、医学獣医学総合研究科6名、農学工学総合研究科9名、計17名(内、外国人留学生6名)に学位が授与されました。

式には、令和5年4月以降に学位取得の要件を満たした修了生に加え、学長・副学長・研究科長・指導教員等を含めた教職員約30名が列席するなかで、使用言語は英語で行いました。

鮫島浩学長からは、「研究を本当に楽しむことができるのは、一生懸命に集中して取り組んだときです。私たち宮崎大学は、これからも皆さんに寄り添っていきますので、何か助けが必要な際は遠慮なく連絡してください」と、修了生に対して激励の言葉が英語で贈られました。また、修了生の答辞では、指導教員をはじめとする研究室の仲間たちや宮崎大学で出会った友人への感謝の気持ちを日本語も交えながら述べられました。



10. 令和5年度宮崎大学「夢と希望の道標」奨学金贈呈式を挙行

令和5年9月21日(木)、創立330記念交流会館コンベンションホールにおいて宮崎大学「夢と希望の道標」奨学金の贈呈式を行いました。この奨学金は、平成27年に設立された本学独自の財源を基にした給付奨学金制度で、今回、学業成績が特に優秀な学生57名(留学生3名を含む)が奨学生として選出され、後日、10万円の奨学金(返済不要)が贈呈されることとなります。贈呈式では、鮫島学長から贈呈証書が奨学生に渡され、お祝いと激励の言葉が贈られました。また、奨学生の代表者からは、「いただいた奨学金で学習する環境を整え、これまでも、これからも学習や研究に励みます」との決意が述べられました。



11. 第30回技術・研究発表交流会を開催～ ノーベル化学賞受賞者の吉野彰氏が講演 ～

2023年9月22日(金)、宮崎市民プラザにおいて、第30回技術・研究発表交流会を開催し、県内各地の産学金労官関係者約230名の皆様にご参加いただきました。

本イベントは、宮崎大学研究・産学地域連携推進機構が主催し、宮崎県・(公財)宮崎県産業振興機構・(一社)宮崎県工業会・(株)宮崎銀行・みやぎんベンチャーキャピタル(株)・(株)宮崎太陽銀行・(株)宮崎太陽キャピタルが共催で実施するもので、今回が30回目の節目を迎えました。

今年は、例年同時開催している分析講演会に加えて、東九州メディカルバレーものづくりフェスタおよび宮崎県産業振興機構事業成果報告会も同時開催。宮崎大学の研究を紹介する口頭発表や47点にもおよびポスター発表が行われたほか、宮崎大学と県内企業との産学連携の共同研究により生まれた製品を紹介するブースなども出展されました。また、メインイベントの一つである地域交流講演会では、ノーベル化学賞受賞者である吉野彰氏(旭化成株式会社名誉フェロー)に、「リチウムイオン電池が開く未来社会」と題して基調講演をいただきました。ノーベル化学賞受賞理由として、「現在のモバイル社会実現に大きく貢献したこと」に加え、「持続可能な社会実現への期待」が挙げられていますが、吉野さんご本人も「研究を始めた頃には、今の様なモバイル社会が来ることなんて想像もできなかった」と科学技術の目覚ましい進歩を振り返りながら、さらなる技術革新により、全ての電気自動車が自動運転で走行している未来社会の動画を紹介されました。

